

サービス紹介資料

ワンクリックで完成する
議事録AI「YOMEL」



株式会社PKSHA Technologyについて



- ✓ 日本のAI研究の第一人者である東大・松尾豊教授の研究室出身者が創業したAIリーディングカンパニー
- ✓ 自然言語処理 / 音声技術に根差した「コミュニケーションAI」で幅広い製品展開とNo.1の導入数を誇る
- ✓ プライム上場企業としての安定性、4,400社以上の導入実績と公共性の高いインフラへのAI実装

CX/EX領域で幅広く展開されるAI SaaS製品群

CX領域

顧客体験

PKSHA VoiceAgent PKSHA Chat Agent

PKSHA Knowledge Stream

PKSHA Speech Insight PKSHA FAQ

EX領域

従業員体験

PKSHA AI Helpdesk PKSHA Chat Agent



日本語の言語処理 / 音声技術を軸に導入数No.1&高精度を誇る



累計 **7.5億回** 以上

PKSHA ChatAgent



チャットで
疑問が解決



毎月 **35万** 以上

PKSHA VoiceAgent



24時間いつ
でも繋がる



※ 出典：富士キメラ総研「顧客接点・CX変革ソリューション市場分析 2023年版」

株式会社PKSHA Infinityについて



- ✓ 2025年5月1日より「株式会社PKSHA Technology」の完全子会社として「株式会社PKSHA Infinity」に社名変更
- ✓ 「YOMEL」を中心とした音声認識関連AI SaaSでの技術連携が強み



話者と感情がわかる
最高精度の音声認識AI



ボタンひとつで記録から書き起こし
要約まで自動で行うAI議事録ツール



ヘルプデスクや
カスタマーサポート業務の効率化AI

PKSHA
INFINITY

所在地

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル7F

URL

<https://infinity.pkshatech.com/>

E-mail

info@pksha-infinity.com

代表取締役

森 慎吾

資本金

5,182万200円

従業員数

77名（令和8年4月1日現在）※業務委託除く

設立

2019年10月23日

事業内容

AI SaaSの開発および運営

- 01 | 市況について
- 02 | サービス紹介
- 03 | 料金プラン
- 04 | 導入事例 / FAQ

CONTENT

01 市況について

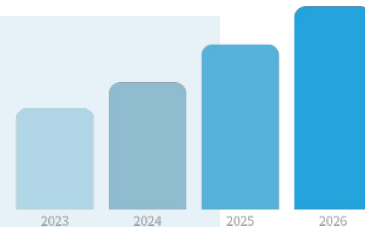
CONTENT

AI議事録市場を取り巻く環境

AI議事録市場の拡大

推定市場規模は **130～160億円[※]** 以上

前年成長率は **+30～40%[※]** を維持し続ける予測



サービスの乱立

国内で **30社以上[※]** のサービスが登場

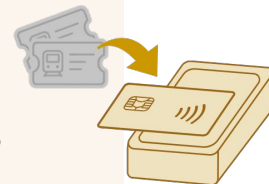
お客様が **どのツールを選ぶか** 選定をするフェーズに



不可逆な進化

かつての **切符購入** が **キャッシュレス化** したように

手書きの議事録も **AIで自動化が当たり前** の時代になりつつある



※ 当社調べ

AI技術の進化で単なる書き起こしから、文脈を理解する智能へ

音声認識精度の飛躍的向上 (ASRの進化)

かつての音声認識は、静かな環境で1文字ずつ
発音しなければ誤変換だらけでした。
現在はディープラーニングの発展によって、
騒音下や複数人の被りでも
人間と同等以上の認識精度を実現しています。

LLM (大規模言語モデル) による文脈理解と要約

GPT-4o等のLLMとの統合によって
単に音を文字にするだけでなく
「会議や会話の文脈」を理解できるように
なりました。

	従来の音声認識 (～2010年代後半)	次世代AI議事録 (現在)
技術基盤	統計的モデル / 音声認識のみ	ディープラーニング / LLM (生成AI) 連携
精度	誤字脱字が多く、修正に時間がかかる	人間と同等 / 文脈に応じた自動補正
アウトプット	文字の羅列 (ベタ打ち)	論理的な要約 / ネクストアクションの抽出
活用価値	記録の補助	意思決定のスピードアップ / 資産化

AIツール導入は“効率化”だけでなく“生存戦略”



2社に1社

が人手不足に直面

多くの企業が労働力不足に悩まされており
国もDXを国家戦略として掲げ
生成AI活用による生産性向上を
推奨しています。



AI自動化

非生産的な作業を置き換える

文字起こし・手書き議事録などの
「非生産的な事務作業」を
AIで自動化することで
本来の業務に集中できます。



付加価値

人間にしかできない業務へ

単なる人件費削減に留まらず
「人間にしかできない業務への付加価値」
を高める動きにつながります。

これからの企業の「生存戦略」の一步として
議事録作成の効率化に取り組みませんか？

会議や商談でよくある悩みや課題

個人の生産性低下が組織全体への**リスク**に...

01 課題 膨大な議事録作成工数

人件費の浪費



1時間の会議に対し**2～3時間**の作成時間が発生。
作成後の部内回覧・修正も含めると膨大なコストに。

02 課題 現場が抱える「隠れたコスト」

商談成約率の低下



メモや書き起こしに必死で、**会議中の議論に集中できない状態**が
常態化。商談品質が低下してしまう。

03 課題 情報のブラックボックス化

コンプライアンスリスク



会議内容が共有されず、「**言った・言わない**」の泥沼化が発生。
情報の透明性が失われる。

04 課題 ナレッジ共有の壁

属人化の加速



過去の経緯が追えず、**議事録の質のばらつき**によって
組織の知見が蓄積されない。

これらの課題を、**AIによる自動化と可視化**で解決！

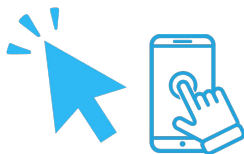
02 サービス紹介

CONTENT

世界で最もカンタンなAI議事録 YOMEL

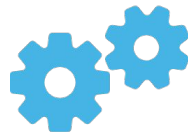
YOMELは、議事録作成に係る非効率な作業を削減し、会議の質を高める「会議コミュニケーションAI」

ボタンひとつで
約9割の議事録が完成



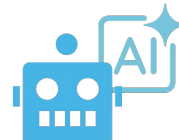
PCでもスマホでも全音声を
自動でテキスト化
多彩な形式で要約します

直感的に使える
UI/UXデザイン



高機能なAIを、ブラウザひとつで
完結するシンプル設計

独自の音声解析AI×複数のLLMで
高精度を追求



マルチLLM採用により精度の高い
文字起こし・話者分離・要約を実現

**ワンクリックで全発音をテキスト化して要約まで自動完結。
会議を価値ある情報資産に。**

※要約のためのAIに送られたテキストは、外部生成AIサービスのプライバシー・ポリシーにて、一切学習には利用されることが明示されております。

【Web会議】YOMELの使い方

YOMELでは、会議システムは一切変更不要。

Zoom、Meet、Teams、WebEX、その他どのような会議システムにおいても問題なくご利用いただけます。



会議や商談が始まったら、

自動起動する小窓の**スタートボタン**を押すだけ。

パソコン・スマホにYOMELのアプリをダウンロードしておけば
いつでもワンクリックするだけで録音・文字起こしが始まります。

こんなメリットがあります

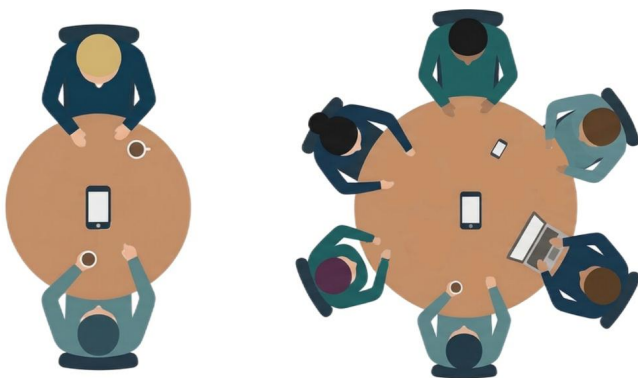
- ・他の参加者に事前にURLを発行してログインしてもらう必要なし
- ・会議にBotが入らないため、参加者の抵抗感が少ない

【対面会議】YOMELの使い方

対面での商談の場合にも使い方は至ってシンプル。以下いずれかの方法でYOMELを起動するだけです。

1対1、4～7名

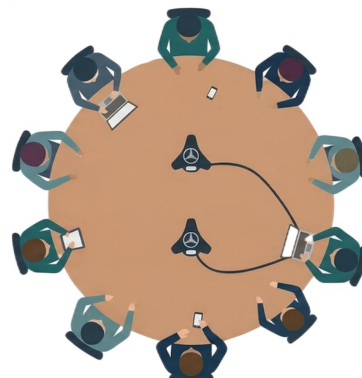
小・中規模会議



スマホでYOMELを起動してテーブル中央に設置

8名以上

大規模会議



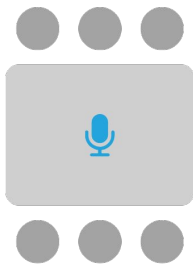
ノートPCに会議用マイクを接続してYOMELを起動

【対面会議】YOMELの使い方（会議用マイクの收音環境について）

部屋の広さにあわせて会議用マイク・スピーカーフォンを複数台用意いただくことでより精度の高い音声認識が可能になります。

一般的な打ち合わせスペース

～6名

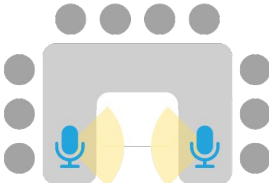


マイク推奨台数
1台

- ✓ テーブル中央に配置し全員から等距離に
- ✓ 壁面やモニターから30cm以上離して反響を防止
- ✓ 発話者との目安距離は1.5m～2m以内

中規模会議室

～15名、U/コの字レイアウト

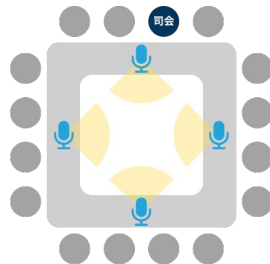


マイク推奨台数
2台

- ✓ U/コの字テーブルの長辺中央付近に
- ✓ 2台を等間隔で向き合うよう配置
- ✓ マイク同士の間隔目安は2.5m～3m

大会議室

15名以上、口の字レイアウト



マイク推奨台数
3～4台

- ✓ 口の字の内側に向けて均等配置
- ✓ 各マイクの間隔目安は2.5m～3.5m
- ✓ 司会席近くに1台配置、進行役の発言を必ず收音
- ✓ 反響対策としてスピーカー音量は控えめに設定

会議終了後はマイページからログの確認・編集可能



The screenshot displays the YOMEL web application interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for '書き起こし' (Transcription), '要約' (Summary), and 'エディタ' (Editor). The '要約' tab is active, showing a summary of the 12th meeting. The interface includes a sidebar with a list of participants (山本, 佐藤, 田中, 佐藤, 山本) and a main content area with a transcript and a summary. The summary is titled '第12回経営会議 議事録要約' and lists key points such as '11月度業績見込みについて' and '次世代システム開発について'.

第12回経営会議 議事録要約

主要な議題の数

【主要な議題の数】3個

会議の参加者

- 山本 専務
- 佐藤 リスク統括
- 田中 人事部長
- 佐藤 システム部長

概要

- 11月度業績見込みについて、預金はキャンペーン効果で好調だが、その採算性やクロスセル戦略の実行性に疑問が呈された。また、買出金の遅延やM&A案件の交渉中断といった収益への重大な懸念事項が発覚し、厳しい返及が行われた。
- 次世代システム開発では、2週間のスケジュール遅延に加え、開発パートナー企業のキーマンの急な退職と経験の浅い後任がアサインされるという致命的な問題が判明。プロジェクト自体の存続が危ぶまれる事態となっている。
- 人事異動方針として人事部が提案した中堅層の本部シフト案に対し、営業現場の戦力低下と若手育成の環境を招くと営業本部が猛反発。議論は平行線を辿り、合意には至らなかった。

主要指標・定量情報

ID	項目	数値	その他重要事項
1	11月期営業実績 (前年同期比)	+1.2%	定期預金キャンペーンが好調 (02:00)
2	キャンペーン金利	0.3%	他行比で高いとの指摘あり (01:35)
3	過去キャンペーンのクロスセル率	10%未満	昨夏のキャンペーン実績 (02:05)
4	11月買出金 (計画比)	-0.5%	大口法人融資の実行予定が要因 (01:55)

終了ボタンを押すと会議記録のURLが発行され、ログ詳細が確認できます。

書き起こしや録音した音声の確認、テキストの修正、テンプレートに沿った要約化などの編集が可能です。

会議ログは最大3年間、履歴として残ります。

ボイスレコーダーなど他の機器で録音した音声や動画データを、YOMELにインポートして議事録化させることも可能。

▼インポート可能な形式
mp3、mp4、m4a、wav、flac

注目機能① 自動テキスト化＆話者分離



会議での発言は自動的にテキスト化され
チャットログのようなフォーマットで
内容を振り返ることができます。

文章をクリックすれば
ピンポイントで会話内容を聞くこともできるので
うまく認識できていない部分も
音声で確認することができます。

Point

- ✓ 日本語特化型音声認識エンジンOlarisにより
感情や話者を的確に識別します
- ✓ 読みやすさに特化し、「あー」「えー」など
不要な発話を自動でカットします

注目機能② AI自動要約

トピックス

✓ サービス説明

- ✓ AIによる自動議事録作成サービス 0:23
- ✓ 会話スタートボタンを押すだけで使える 24:12
- ✓ あらゆる会議システムで利用可能 05:12
- ✓ 議事録作成工数や議事録品質のばらつきの課題を解決 08:29

✓ 価格の説明

- ✓ 何名でも使えて28,000円から利用可能 0:58

✓ マーケティング戦略

- ✓ ベータ版価格で最初は売る方針でプラン作成を検討 37:12
- ✓ 営業力を活用したマーケティング、連携によるインセンティブなどについて検討が行われた 12:56

概要

本日は最新型コピー機についての説明を行いました。このコピー機は高速で高品質な印刷が可能であり、Wi-Fi対応や両面印刷、拡大・縮小印刷もできます。また、約30パーセントの電力消費量削減を実現しており、省エネ機能も備えています。さらに、充実したアフターサービスを提供しており、お客様に安心してご利用いただけます。購入後1年間は無償で保守のサポートがついており、定期的な点検や保障時の修理も含まれています。専門の技術者が迅速に対応します。また、延長保証もオプションでご用意しています。

質問と回答

Q 最新型コピー機の特徴は何ですか？

A 高速で高品質な印刷、Wi-Fi対応、両面印刷や拡大・縮小印刷が可能

Q 消費電力はどれくらいですか？

A 約30パーセントの電力消費量削減

Q アフターサービスは充実していますか？

ネクストアクション

- ✓ コピー機の納品・設置：4月20日 04:42
- ✓ 設置後の操作説明実施 04:57
- ✓ 購入手続きの完了：顧客情報の確認 03:57

決定事項

- ✓ 顧客がコピー機を購入することを決定 03:46
- ✓ 支払い方法はクレジットカード 04:35
- ✓ 納品・設置日は4月20日 04:43

会議ログの編集画面では、書き起こしたテキストの校正や要約をAIが自動で行います。

トピックス、概要、質問と回答、要点一覧、ネクストアクション、決定事項など必要な情報に合わせて要約が可能です。

Point

- ✓ ログ編集画面から要約内容を選択したうえで要約を実行します
- ✓ PCアプリで録音を開始する際に「自動要約」をオンにすることで録音終了とともに自動的に要約作業を開始できます



注目機能③ カスタム要約機能

テンプレート設定 ?

お気に入り カスタム 公式

- ブレインストーミングメモ
公式テンプレート
- 商談（社内分析向け）
公式テンプレート
- 商談（自社・顧客共有向け）
公式テンプレート
- 基本会議
公式テンプレート
- プロジェクト推進会議
公式テンプレート
- 経営（数値・指標版）
公式テンプレート
- 経営（標準・戦略版）
公式テンプレート
- ワークショップ総括
公式テンプレート
- プロジェクト要件・仕様検討
公式テンプレート
- 開発
公式テンプレート
- 開発（タスク整理向け）
公式テンプレート
- 面接（ポテンシャル採用向け）
公式テンプレート

+ 新規テンプレートを作成

ブレインストーミングメモ

公式テンプレート

セッション基本情報

目的（ゴール）、ファシリテータ、参加者、所要時間

問題定義・前提条件

解決したい課題、ターゲット、制約条件（予算・期間など）の確認

アイデア・議論の構造化まとめ

発散されたアイデアを主要なテーマやカテゴリごとに分類して記述。
カテゴリごとに、具体的なアイデアの内容と、それに対する参加者の反応や補足意見を記載すること。

主な評価・選定結果

議論の中で重視された評価軸（実現性、新規性など）に基づき、有力候補として残ったアイデアとその選定理由、逆に棄却されたアイデアとその理由。

ネクストステップ・検証計画

選定されたアイデアを具体化するための次のアクション、PoC計画、調査事項

ベンディング・継続検討事項

今回結論が出なかった論点、時間切れで議論できなかったトピック、次回以降に持ち越された課題

アクションアイテム

タスク内容、担当者、期限

テンプレートサンプル名

新機能アイデア検討セッション

セッション基本情報

- 目的: 新機能アイデアの探索と検証方針の決定
- ファシリテータ: 担当者A
- 参加者: 参加者A、参加者B、参加者C
- 所要時間: 90分

問題定義・前提条件

- 課題: 現行フローの手戻りが多く、作業時間が増えている
- ターゲット: 日常的に業務システムを利用する担当者
- 制約条件: 開発期間は四半期内、追加コストは最小化

アイデア・議論の構造化まとめ

- 【入力支援】
 - 入力候補の自動提示機能
 - 反応: 利用頻度が高い場面では有効との意見
- 【進捗可視化】
 - 進捗状態を一覧表示するダッシュボード
 - 反応: 管理者向けに有効だが粒度調整が必要
- 【通知設計】
 - 期限前リマインドと未対応アラート
 - 反応: 通知過多を防ぐ設定が必要

主な評価・選定結果

- 有力候補: 入力支援（実現性が高く効果が早く出る）
- 有力候補: 通知設計（運用定着を支援できる）
- 棄却候補: 全画面刷新（工数と影響範囲が大きい）

ネクストステップ・検証計画

- 入力支援のPoC要件を定義する
- 通知設計の対象イベントを整理する
- 効果測定指標を設定する

会社指定の議事録形式や
好みに合わせた要約をすることもできます。

商談、基本会議、経営会議、面接など、
あらかじめ各シーンに対応した
公式テンプレートも用意されているため
複雑な設定を行うことなく簡単に要約を行えます。

Point

- ✓ 15パターンの公式テンプレートから選ぶだけで会議内容に合った議事録を簡単に作成できます
- ✓ 自由にプロンプトを指定し、オリジナルの要約テンプレートを追加することも可能

注目機能④ AIチャット機能

☆ AIチャット



AIチャット

チャット履歴

議事録の確認やタスクの洗い出しなど、お手伝いいたします

ここでの会話はプライベートです。
他の人に共有されることはありません。

- 📌 このログについて壁打ち
- 🔍 ネクストアクションは？
- 📌 決まったことを教えて

どんなことでもAIチャットに聞いてみましょう

AIチャット

サトウさんの発言をまとめて

📌 進捗報告

項目	内容
完了事項	マーケティングリサーチの完了
現状	データ分析が進行中（進捗約7割）

⚠️ 懸念点（推定）

「データ分析に少し時間がかかっている」という発言から、当初の想定より分析工数が膨らんでいる可能性があります。

✅ サトウさんのアクションアイテム

AIに何でも聞いてみよう

🔍 検索

会議後のログ編集画面でAIに対して直接質問を投げ
ログに基づいた高度な分析や提案を得ることができます。

ネクストアクションや課題点の抽出などを
投げかけることで、AIが文脈を読み解き
瞬時に提案してくれます。

Point

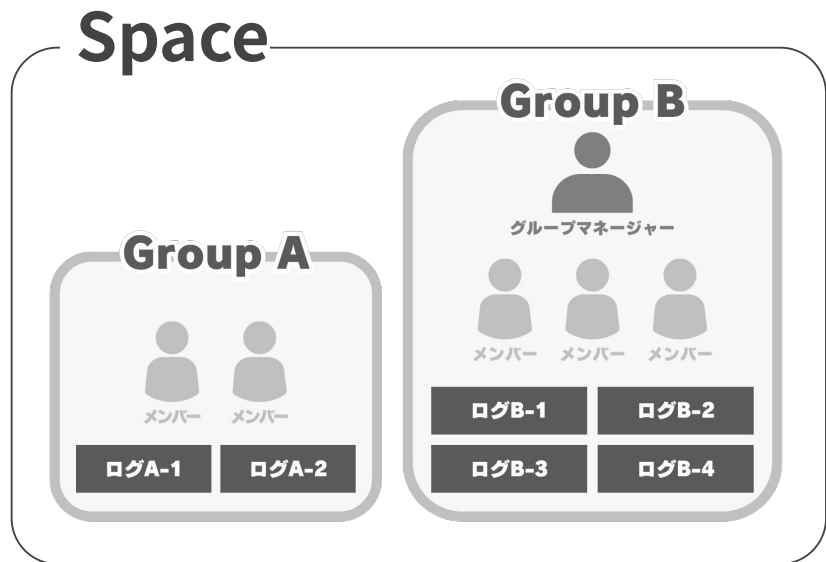
- ✓ 自由にAIに質問をすることができるだけでなく
会議内容からいくつかの質問や提案をサジェスト可能
- ✓ AIチャットとの対話で生まれたまとめや回答は
そのまま議事録本文（エディター）に反映可能

注目機能⑤ グループ機能と権限

部署やチームごとにグループを作成でき、

グループ単位でログ閲覧やアクセス権限を細かく設定することが可能です。（グループは無制限に作成可能）

メンバーがグループを作成すると、作成者にグループマネージャーの権限が付与されます。



パブリックグループ

アカウント登録している
全ユーザーが閲覧・編集可能
※管理者が公開設定することも可能



シークレットグループ

ログ詳細や参加メンバーの
閲覧・編集を制限できる



プライベートモード

ユーザー本人のみ閲覧・編集可能

管理者	一番強い権限を持ち、スペース全体の機能設定やユーザー管理を行います
グループ マネージャー	自分が作成したグループのメンバー管理や、ルール設定を行えます
メンバー	自分が参加しているグループのログのみ閲覧・編集が可能

その他 便利な機能

辞書登録



会話内で頻出する**固有名詞**や
専門用語などを事前登録することで
書き起こしの**精度が向上**します。
複数の単語を**CSV**にまとめて
登録することも可能。

共有



YOMELアカウントがなくても
ログ内容を閲覧できる**公開リンク**を
発行することが可能。
閲覧期限や**パスワード**設定もできるので
第三者に閲覧されるリスクを
軽減できます。

マネージャー層向け 管理機能



権限を持つユーザーであれば
全スタッフの会議や商談を
リアルタイムでモニタリングできる
「**リアルタイムフォローアップ機能**」や
特定ワードに反応する
「**NGアラート機能**」なども
ご利用いただけます。

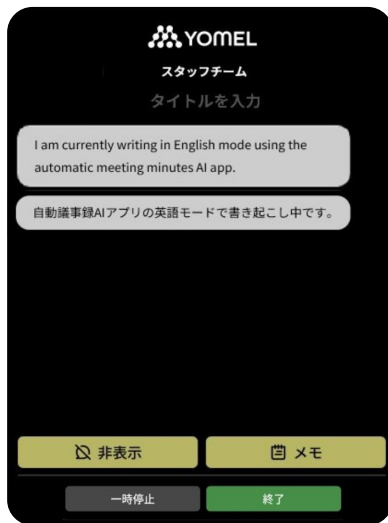
有料オプション 英語モード



I am currently writing in English mode using the automatic meeting minutes AI app.



自動議事録AIアプリの英語モードで書き起こし中です。



英語での発話を英語で書き起こしすることが可能です。日本語と英語が混在した会議でもそれぞれの言語を認識して「日本語は日本語」・「英語は英語」で書き起こします。

Point

- ✓ 日本語と英語以外の言語*の場合は、すべて英語に翻訳され書き起こしされます
- ✓ 書き起こしに使用した言語に関わらず、要約は「日本語」または「英語」で出力します

* 英語以外の言語は、中国語・スペイン語・フランス語・ドイツ語など約70の言語に対応しています

▼要約出力言語を「日本語」で要約した場合



▼要約出力言語を「英語」で要約した場合



03 料金プラン

CONTENT

料金プラン

スタータープラン 30時間

28,000円 / 月

英語オプション +6,000円 / 月

スタンダードプラン 130時間

95,000円 / 月

英語オプション +26,000円 / 月

ビジネスプラン 300時間

180,000円 / 月

英語オプション +60,000円 / 月

エンタープライズプラン 500時間～

250,000円～ / 月

英語オプション +100,000円～ / 月

プランについて

- ・スターター×2, スタンダード+スターターのようなプランを組み合わせた料金体系も可能です。
- ・プランによっては最低利用期間があります。詳細については営業担当までご連絡ください。

時間追加オプションについて

+10時間追加・・・20,000円 (英語オプション +5000円)

+30時間追加・・・28,000円 (英語オプション +6000円)

足りない月だけ利用時間を追加したり
プランとオプションを組み合わせで継続利用することも可能です。

例) スタータープラン+30時間追加 (60時間/月) 56,000円

全プラン共通でご利用いただける機能



音声認識機能

- ・自動文字起こし
- ・話者自動識別
- ・音声インポート
- ・辞書登録
- ・対面会議用
スマホアプリ



議事録機能

- ・自動トピックス抽出
- ・自動要約
- ・自動FAQ抽出
- ・自動全文校正
- ・検索/一括置換
- ・議事録専用エディタ
- ・URL外部共有
- ・カスタム要約
- ・AIチャット機能



管理・教育機能

- ・部署/グループ
作成管理
- ・リアルタイム
会議閲覧
- ・カウンタートーク
サジェスト
- ・アラート通知



セキュリティ機能

- ・監査ログ
ダウンロード
- ・IP制限
- ・個人情報自動除去
- ・権限管理



外部連携機能



salesforce



Slack

オプション機能

リアルタイムカウンタートーク(FAQ) 要問い合わせ

相手の発言に対する切り返しのトークスクリプトを
事前にセットしておくことで、記録中に該当の発言が
あった際に自動的に表示できる機能

英語モード 要問い合わせ

英語での書き起こしが可能になる機能。
約70の多言語にも対応しています

SSO認証オプション 100,000円 / 月

1,000時間以上をご契約のお客様は
無料でご利用いただけます

製品比較表

	YOMEL	議事録特化系ツール A社	議事録特化系ツール B社	AI内蔵型Web会議ツール C社
料金	28,000円/月～ (1時間あたり600円～)	60,000円/月～ (1時間あたり3,000円～)	10,000円/月～ ※AI要約をする場合は別途	4,500円～/月 ※別途ツール利用料が必要
料金体系	時間課金 / ID無制限	時間課金 / ID無制限	ID課金	ID課金
起動方法	常駐アプリ型	ブラウザ型	常駐アプリ型	AIツール内蔵型
WEB会議	○ BOT参加なし	△ BOT参加あり	○ BOT参加なし	○ 参加者への通知あり
対面会議	○	△ 録音後アップロード必須	○	×
音声/動画インポート	○	○	△ 音声のみ	×
辞書登録	○	○	○	×
外国語対応	○ 日/英	◎ 30以上の言語	○ 6言語	○
要約精度	◎ マルチLLM採用	○ 特定のLLMのみ	△ 使用LLM非公開	△
AI要約	◎ 全プラン利用無制限	○ 利用制限あり (クレジット制)	○ 利用制限あり (プランによる)	△ プロンプト次第
話者特定	◎ 高精度音声認識 エンジン搭載	△ 声紋登録必要	○	△
URL共有	○	○	○	△ 外部共有不可
セキュリティ	○ ISO27001認証取得 / 国内サーバー	○ ISO27001認証取得 / 国内サーバー	○ ISO27001認証取得 / 国内サーバー	△ ツール全体の セキュリティ認証に準拠 / 海外サーバー
サポート体制	◎ 全プラン伴走支援あり サポートサイト公開あり	○ 伴走支援はプランによる サポートサイト公開なし	○ 伴走支援はトライアル中のみ サポートサイト公開なし	×

セキュリティ対応

取得可能なログの内容を教えてください	管理者権限にて、ご利用中の全てのアカウントにおけるアクセスログ・操作ログをダウンロードすることが可能になっております。
データ保護のための暗号化要件はありますか？	はい、保存データはAES-256によって暗号化されて保管されています。
通信の暗号化レベルはどの程度ですか？	通信はすべてTLS1.2による暗号化を実施しています。
公的認証取得の要件は満たしていますか？	はい、当社はJIS Q 27001:2014（ISO/IEC 27001:2013）の認証を取得しています。
脆弱性への対応はどのように行っていますか？	重要なセキュリティパッチは3ヶ月に1回を目処に適用し、 緊急性の高い脆弱性情報に対しては緊急メンテナンスを通じて対応しています。
不正なアクセスに対する対策はありますか？	はい、侵入・改ざん・Dos攻撃等を検知し、制御する仕組みが導入されています。 また、保管データの改ざん等の不正があった際の調査のためのログ機構も備えています。
アクセス制限の仕組みはありますか？	はい、IP制限機能により、サービスにアクセス可能なIPアドレスを限定することができます。
セキュリティチェックシートは公開されていますか？	経済産業省が公開している内容をもとに、セキュリティチェックシートを公開しています PDF版セキュリティチェックシート Excel版セキュリティチェックシート

導入までのロードマップとサポート体制

STEP1

トライアル期間



約2週間、10時間分まで
無料でご利用いただけます

オンラインで
画面共有しながら
セットアップを
お手伝いいたします



STEP2

ご検討期間



社内でのご検討期間中も
必要な資料のサポートや
ご相談に対応いたします

貴社規定の
セキュリティチェックへの
個別対応も可能です



STEP3

ご契約



電子契約を
結ばせていただきます

契約締結後は即日利用可能。
ご利用開始日の調整も可能です



STEP4

導入スタート



トライアル時の
アカウントやデータを
そのままご利用OK

導入後も定期的なご連絡や
定例会を通して運用支援を
させていただきます



[トライアル申込はこちら →](#)

04 導入事例 / FAQ

CONTENT

YOMELが活用されているさまざまなケース

経営会議や役員会議



参加人数が多く長時間にわたる重要な会議でも
すべての発言を**自動でテキスト化**。
聞き逃せない重要な発言も**話者ごと**にまとめます。

部署やプロジェクトの定例会議



議題が多く論点が見えづらくなる会議も
AIによる要約で**ネクストアクション**や**課題**が明確に。**会議ログの共有**で会議不参加者でも
内容を正確に把握可能に。

顧客との会議や商談



メモを取りきれない商談の場でも
YOMELが記録しているから**会話に集中**できます。
外部機器での**録音データ**もYOMELにインポートして
簡単議事録化！

採用面接や人事面談



相手によっては発言にまとまりがなく要点が
掴めない場合でも、**同一フォーマット**による
自動要約で面談後に**数分で議事録が完成**。
発言ポイントや質問に対する回答が明確に。

株主総会や記者会見



たくさんの質疑応答があっても
正確に記録し**質問ごとに要約**。
高精度の話者分離で**発言者も明確に区別**します。

海外拠点や取引先との会議



多言語が入り混じる会議でも
英語モードで**議事録の言語は統一**されます。
担当者の英語スキルに左右されず
一定の質を担保します。

累計導入社数 **2,000社** 超 2026年4月末時点



医療法人 弘生会 関屋病院
KOUSEIKAI SEKIYA HOSPITAL



東急不動産

Kanadevia
Technology for people and planet

YOMIKO



群馬銀行



Integrated Clinical Care Informatics



Sumisho
Interior
International



日神管財株式会社



株式会社 協振技建



JR九州駅ビルホールディングス

GEECHS



小野薬品工業株式会社



Chuo Nittochi
中央日本土地建物グループ



MEDIA LINK
ADVANCED STEADY SYSTEM DESIGN COMPANY Ltd.



福井テレビ

Yurtec

株式会社 ユアテック



エルザ動物病院グループ



Daiwa Energy®



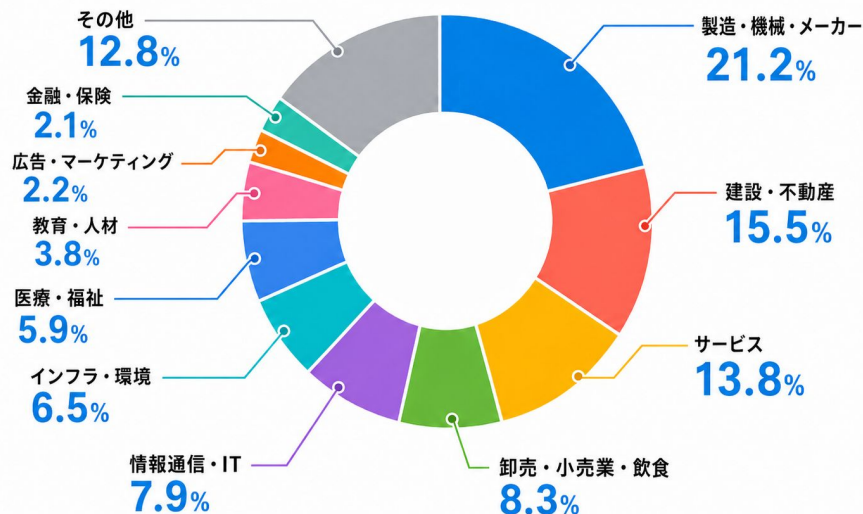
logistics



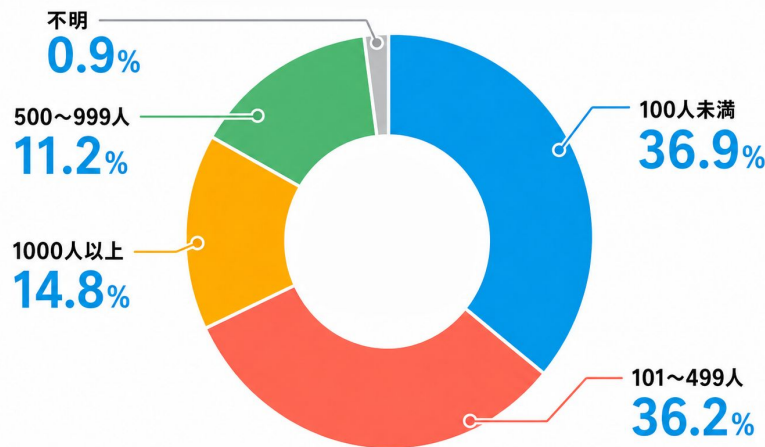
大企業から中小企業まで幅広い業界でご導入いただいています

※2026年4月末時点

業界別内訳



企業規模（従業員数）



CASE.01

英語の会議で大活躍！1時間半→30分になったグローバル企業でのAI議事録の使い方とは？



ICT推進本部 企業DX推進部 依田 真奈様

Kanadevia
Technology for people and planet

会社名 カナデビア株式会社

業 種 機械

職 種 情報システム

企業規模 4000人以上

利用シーン 国内外での会議・打ち合わせ
英語での会議
定例ミーティング・技術協議ご契約プラン エンタープライズプラン
ビジネスプラン（日英）

1.元々の議事録の課題

- 工場の会議を中心に、議事録作成工数の課題が現場から上がっていた
- 特に英語を使った会議の議事録作成には多くの時間がかかっており、平均して1時間半ほどかかっていた

3.YOMEL導入の決め手

- 予算と合うツールの中で、精度と使いやすさ、料金体系のバランスが良かった
- 実際に使うシーンをイメージしたときに「これなら当社で広く使っていけそうだ」と判断できた

5.社内の利用者層

- 全体では約240グループ、登録アカウントは約820
- 記録用途以外に、ログの部内共有目的での登録者多数
- 現場の担当者だけでなく、最近は経営層の会議でも利用されるケースが増えてきた

2.YOMELトライアルの感想

- 候補の中から、無料トライアルが可能なサービスを実際に使い、検証した
- 数社トライアルを行い、精度・操作性・料金のバランスを5段階評価したが、総合点でYOMELがトップだった

4.導入後の利用方法

- 会議室+Teamsのハイブリッド会議で主に使用
- 海外拠点との定例や海外事業に関する打ち合わせで活用
- 社内の打ち合わせでは「とりあえず録っておくツール」としてかなり浸透している

6.導入後の効果・変化

- YOMELの録音による安心感で、議論に集中できるように
- 特に英語の会議での議事録工数が1.5時間→30分に大幅短縮し、担当者の英語力によらず品質が一定に
- ボタン操作だけで要約まで得られることや、話者分離も「誰が言ったか分かりやすい」と好評

CASE.02

会議に集中できる環境をどう作る？——個人情報扱う現場で進むYOMEL活用事例



会社名 ICI株式会社

業 種 医療・福祉

職 種 情報システム

企業規模 100人未満

利用シーン 社内外の商談・定例会議
プロジェクト会議

ご契約プラン スタータープラン

1.元々の議事録の課題

- 会議中にメモに集中しすぎて、議論そのものに集中できず、議事録作成にも多くの時間がかかっていた
- 工数の重さから議事録を取らない会議も多く、関係者間の認識ズレや情報共有不足が課題だった

3.YOMEL導入の決め手

- 料金体系がシンプルで分かりやすく、オプション前提の複雑な価格設計でなかった点
- 特定の機能に特化しすぎず、汎用的にさまざまな会議で使える柔軟性があった

5.社内の利用者層

- 利用者は約20～30名、全6部署中3部署がアカウントを発行して利用
- インフラ・エンジニア、セキュリティ管理、全体進捗管理など重要部署が中心

2.YOMELトライアルの感想

- 単体アプリとしてUIが非常に分かりやすく、他製品と比べて操作に迷わなかった
- 1時間の会議でも2～3分で要約が出るスピード感があり、ストレスなく使えた

4.導入後の利用方法

- 主に他部署や外部関係者との重要な会議で活用し、定期的な軽い会議では使い分け
- トラブル対応や方針決定など、記録が重要な突発的な会議でも活用している

6.導入後の効果・変化

- 会議中にメモを取る必要がなくなり、議論への集中度と発言の活発さが向上
- 議事録必須の会議でも、結論だけを議事録にまとめ、詳細はYOMEL参照で工数削減

CASE.03

リソース不足と高い議事録品質要求を同時に解決！ワンクリックで始まるAI議事録活用方法



会社名

株式会社マイナビ

業 種

人材サービス

職 種

経営企画／投資戦略

企業規模

5000人以上

利用シーン

投資案件に関する社内会議
複数人参加の定例・検討会議
詳細な内容把握が求められる重要会議

1.元々の議事録の課題

- Googleドキュメントで手書き議事録を取っており、投資案件増加に対して担当者数が足りず、リソース不足が深刻化していた
- 議事録作成が属人的になり、業務負荷が特定の担当者に集中していた
- 要点だけでなく会議の雰囲気まで分かる、詳細度の高い議事録が求められていた

2. 議事録ツールを検討したキッカケ

- リソース不足と議事録品質の両課題を同時に解消したいというニーズがあった
- 会議ごとに本当に必要な出席人数なのかを見直す必要性を感じていた
- 出席者を減らした場合でも、聞き逃しを防ぐリスクヘッジとして議事録ツールが有効だと考えた

3. YOMELをトライアルした感想

- 他社と比較してUI・UXが優れており、ワンクリックで文字起こしを開始できる点が印象的だった
- 突発的な文字起こしニーズにも即座に対応でき、手軽さを実感した
- 文字起こし精度は十分高く、今後さらに向上することを期待している

4.導入後の利用方法

- 文字起こし画面や議事録閲覧ページなど、全体的なUI/UXが評価された
- アカウントを持っていない人にもURL共有で議事録を確認してもらえる点が便利だった
- リアルタイムで文字起こし内容を確認でき、きちんと記録されている安心感が好評だった

導入されたお客様の声



経営企画部 K様

導入の決め手は、**話者分離の正確性**、**要約の精度**、**議事録作成の容易さ**でした。そのシンプルなUI/UXは、数百人規模の利用者がいても**DX推進部への問い合わせが少なく済むのだと期待が持てました**。他社製品との比較でも、YOMELが当社に合っているとの結論に至り、導入を決めました。部署ごとの管理機能についても、今後の社内会議での導入を検討しています。



代表 T様

他社製品との比較して、特にYOMELの議事録作成**インターフェースの使いやすさ**が際立っていました。操作が迅速で直感的、要点の一覧作成や**トピックの整理が容易**です。また、アプリの利用がスムーズで、**少ない手順で効率的に作業が進められる点**も良かったです。お客様との打ち合わせにおいても、文字起こしの精度が高く、導入の決め手となりました。



営業部 O様

YOMELにより私たちの**議事録作成工数が劇的に改善**しました。特に総会での使用は大きな効果を発揮。初回はPCマイクを使用し、その後マイクスピーカーに切り替えることで、さらに**精度が向上**。マネージャーも他のアプリと比較してYOMELの高精度に驚いています。議事録作成時間の削減だけでなく、**残業時間の短縮にも大いに貢献**しており、社内の他部署でも導入が検討されています。



代表取締役 I様

店舗スタッフの負担を解消すべく、DXによる業務改革に踏み切りYOMELを導入しました。Webサイトでの評判の良さ、**わかりやすい料金体系**、そして**文字起こしや要約の精度の高さが決め手**になりました。これまで2日間ほどかかっていた議事録作成が、わずか2~3時間で終わるようになり、本来注力すべき「接客や店舗運営」に集中できる環境が整いました。



情報システム部 A様

議事録を残す文化があまりない社風だったこともあり、「言った・言わない」による**トラブルを防ぎ**、正確な記録を残す目的で、AI議事録の導入を検討しました。精度面はもちろんですが、**アカウント数が無制限で利用人数によって費用が変わらない点**がYOMEL導入の決め手になりました。**グループ分け機能がとても便利**で、運用する側の手間もなく助かっています。



DX推進部 S様

長いと3~4時間続く会議もあり、そのような場面でYOMELが活躍しています。**議事録作成にかかる時間は約半分**になりました。会議終了後から議事録を社内外に共有するまでの時間もかなり短縮された感覚があります。会議中にパソコンでメモを取る作業がなくなり、**議論の内容そのものに集中できるようになったのも導入による良い効果**だと思います。

よくある質問

利用可能なOS・ブラウザは何ですか？	Windowsの場合はWindows11以降、 Macの場合はMac OS Ventura13.0以降でご利用いただけます。 スマートフォンは Android 12.0以上、iOS 15.0以上で録音機能のみ利用可能です。 ブラウザは、Google Chrome最新版のご利用を推奨しております。 (Windowsの場合はEdgeも利用可能)
利用可能なマイクは限られますか？	いずれのメーカーのマイクでもご利用可能ですが、 ハウリング防止や認識精度向上のため、ノートパソコン標準の マイク・スピーカーは非推奨とさせていただきます。 外付けのイヤホンマイクやヘッドセット、 会議専用マイクスピーカー等のご利用を推奨しております。
入力したデータはAIに学習されますか？	YOMELに入力された音声データ、及び、出力結果であるテキストデータは、 いずれもAI学習に利用致しません。 そのためオプトアウト申請せずにAI学習に利用しない設定で YOMELをお使いいただけます。
サポート体制を教えてください	24時間365日、メールでの受付を行っています。 緊急時を除き、平日の10時～17時の間に順次対応いたします。

PKSHA
INFINITY

PKSHA
INFINITY

会社名	株式会社PKSHA Infinity
所在地	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル7F
URL	https://infinity.pkshatech.com/
E-mail	info@pksha-infinity.com
資本金	5,182万200円
代表取締役	森 慎吾
設立	2019年10月23日
従業員数	77名（令和8年4月1日現在）※業務委託除く
事業内容	AI SaaSの開発および運営